

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 02 健やかに暮らせるまち
 施策 01 子育て支援の充実
 基本事業 03 子育て不安の解消と交流の場の提供
 主管課： 児童福祉課
 関係課：

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 18歳以下の子ども及び保護者	意図 (どのような状態にしたいのか) 子育てに関する支援を受ける機会や, 知人友人との相談や情報交換ができる場を提供し, 保護者の不安解消や精神的負担の軽減を目指す。
---	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

子育てに悩みや不安を抱えている保護者の割合 (%) 児童福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
42.60	44.00	37.90	35.00	35.00	35.00
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値からは4.7%, 平成28年度からも6.1%改善しています。 (原因) 子育て中の保護者への支援として, 地域子育て支援センターでの広場事業や家庭児童相談室での子育て相談等の利用に併せ, 子育て中の親同士等身近な人に相談していることもポイント減少になった要因と考えます。今後においても核家族化や地域社会のつながりの希薄化により子育て不安を訴える保護者に対して, 相談機関の周知や子育て中の親同士の交流機会の提供を継続していくことが必要と考えます。			
対前年度	低下				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

子育てについて友人, 知人に相談できる保護者の割合 (親, 配偶者以外) (%) 児童福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
76.60	73.30	76.00	77.00	77.00	77.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値からは0.6%減少していますが, 平成28年度からは2.7%増加しています。 (原因) 市の相談事業利用の促進や啓発, 地域子育て支援センター等において子育て中の親同士が交流できる機会の提供により子育てについて相談できる友人等が増加したためと考えます。宅地開発等により子育て世帯の市外・県外からの転入者が多く, 今後も核家族化や地域社会のつながりの希薄化により子育て不安を訴える保護者が増える傾向が続くことから, 相談機関の周知や子育て中の親同士の交流機会の提供を継続していくことが必要と考えます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

